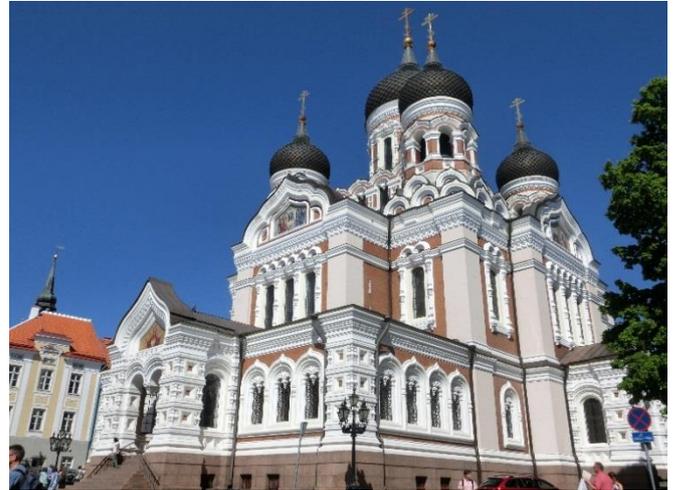


## 「モイモイ (Moi moi)」

(フィンランド語で「さようなら」)

私はフィンランド・エストニアへ行きました。タンペレや、ウスペンスキーの大聖堂などは、事前学習を通して知ってはいましたが、画像で確認するのと、実際に自分の目で見てみるのとでは全く違うものでした。実際に建物を目の当たりにすると、その迫力ある姿に圧倒されてしまいました。写真に収めて持ち帰っても伝わらない、海外市場の食べ物や海のおい、頭の真上を飛ぶカモメの鳴き声、日本とは違った建物様式の住宅街の雰囲気、すべて自分の足で現地に向かい、自分の体で体感することの素晴らしさ、大切さを見出すことができました。



が学習してきた英語を使い、話すことによって、知識を外に出すこと、相手に伝えコミュニケーションをとることで、インプット・アウトプットの大切さを改めて感じたとともに、普段から英語の授業を受けていてもいざ話す場面となると上手く伝わらないものだと感じました。

十代で「ヨーロッパに行く機会」を持つことができるのはそう多くあることではないと思います。今回の修学旅行を通して、B & S や国際学校交流など、日本では出来ない貴重な経験をすることができました。歴史的建造物を見学したり、英語でコミュニケーションをとったり、自分の将来に繋がるような経験ばかりでした。これらの経験を今後の学校生活や受験勉強に活かしていきたいと思いました。

B & S では現地学生と一般の交通機関を利用して班で行動し、フィンランドコース全員で観光するのはまた違った雰囲気で、積極的に英語でコミュニケーションをとることができました。

また、国際学校交流では着物の着付けやけん玉、書道、エストニアの踊りや歌で交流し、「異文化交流」を実際に体感することのできるとても良い機会となりました。

この旅行は、今まで英語の授業を通して築いてきた自分の英語力をためす良い機会でもありました。自分

